

氏名

こばやし しげる
 小林 繁

所属	生命科学講座	分野	頭頸部構造解析
職名	教授		
最終学歴	九州歯科大学大学院歯学研究科	学位	歯学博士

専 門 分 野	解剖学				
教 育 実 績	担当講座名称	単位数	講義時間数	実習時間数	学科・院の別
	一般基礎医学 1	単位	30.0 時間	時間	
	生命科学実習 1	単位	時間	60.0 時間	
	歯科基礎医学 1	単位	12.0 時間	時間	
	歯科基礎医学 3	単位	18.0 時間	時間	
	生命科学実習 2	単位	時間	28.0 時間	
大学運営における主な役職履歴 (過去5年間)	健康推進科学専攻長、頭頸部構造解析学分野長、				
研 究 分 野	解剖学				
研究課題	課題名	三叉神経節の神経伝達機構の解明、歯冠形態による東アジア民族移動の解明、咀嚼筋の比較解剖学的研究、人体解剖学実習手技の検討			
	キーワード (5つまで)	歯冠形態、咀嚼筋、三叉神経節、神経伝達機構、解剖学教育			
	共同研究等の実績	長崎大学歯学部解剖、瀋陽医学院解剖教研室、神奈川歯科大学解剖			
研 究 業 績 (著書・発表論文等) (主 要 5 編)	高橋常男、小林繁、副島泰子：歯の解剖学、医歯薬出版、2007				
	Activaation of satellite glial cells in rat trigeminal ganglion after upper molar extraction Acta Histochem Cytochem 12:143-149, 2009				
	Population history of the northern and central Nansei Islands (Ryukyu island arc) based on dental morphological variations: gene flow from North Kyushu to Nansei Islands. Anthropological Science 116, 49-65, 2008.				
	Intermittent force induces high RANKL expression in human periodontal ligament cells. J Dent Res 86(7): 623-628, 2007.				
	我が国の大学医学部・歯学部における解剖学教育に関する調査研究. 解剖学雑誌 80 (2) : 41-47, 2005.				
産学官連携実績 (主要 3 件)	----- ----- -----				
産学官連携能・希望分野					
取得した実用新案特許等 (主要 5 件)					
所 属 学 会 (主 要 5 件)	日本解剖学会、日本人類学会、歯科基礎医学会、九州歯科学会、日本歯科医学史学会				